

きのこ

Heavenly light mushroom / *Mycena lux-coeli* / Shiinotomoshibitake / シイノトモシビタケ

モ シ ビ タ ケ

以前このきのこは、本州中央部から離れた島である八丈島のみに生息するとされていたが、最近では様々な島で発見されている。奄美大島では梅雨の時期に朽ちたスダジイの根に生えているのがよく見られる。高さ数センチの薄茶色いキノコで、小さなかさをもつ。暗闇で不気味な緑色に発光するかさや柄をもつため、「森の妖精」と呼ばれている。発光の原理としては発光色素であるルシフェリンの化学反応によるものである。乾燥しやすいキノコのため、寿命は数日のみ。